

高川小だより

令和6年(2024年)3月22日

発行者: 校長

高川小HPはこちら➡



1年間が終わりました

今日で3学期が終わりです。1年間はあっという間ですね。今日は修了式がありました。「修了」の意味は、「この1年間で学校で学ばなければならない内容を全て学び終わった」ということです。でも、終わりではありません。今年学んだことを使って、来年、再来年と勉強が続いていきます。明日から春休みに入りますが、今年の教科書やノートなどを片付けるときに、1年間学習したことを見直してほしいと思います。

さて、3月18日に卒業式が行われました。6年生40名は立派に卒業して이었습니다。卒業生に私から、2つのことをお話ししました。1つ目は「チャレンジすること」、2つ目は「人とのつながりを大切にすること」です。

「チャレンジすること」は、登山に例えました。山に登ることは、決して楽しいことばかりではなく、困難も待ち受けていること、それを乗り越えて頂上に着くと、今まで見ることはできなかった景色を見ることができる。それが成長するということである。途中までしか登れなかった人も、登った分成長している。一人ひとり、自分のペースで何度でも挑戦して自分の世界を広げてほしいという内容です。

「人とのつながりを大切にすること」は、中学校で新しい友だちと気持ちがつながるいい関係をつくってほしいという内容です。ただ一緒にいるだけでは友だち関係は深まりません。人はみんな、感じ方や考え方がちがいます。お互いの気持ちや言いたいことが伝わらず、困ったり、時にはイライラしてしまい、相手にぶつけてしまうことがあるかもしれません。でも、その時、自分が本当に伝えなかった事はなんだったのか。言い方や態度はどうだったのか。相手はどんな気持ちだったのだろうかなどをしっかりと考えることが大切です。そして、相手の存在を尊重することが、豊かな人間関係づくりにつながっていくと思います。

学校自己診断アンケートより

アンケートへのご協力ありがとうございました。今年度はFormsでの回答をお願いしました。回答率は65%でした。アンケート結果は学校HPをご覧ください。児童理解や生活面での指導、ルールを守ることなどに対しては肯定的に評価していただいています。今回は、否定的な回答がやや多かった内容について報告します。

肯定的回答…「よくあてはまる」、「ややあてはまる」をあわせた割合

否定的回答…「あまりあてはまらない」、「まったくあてはまらない」を合わせた割合

1	「学校へ行くのが楽しい」	肯定的回答…81.7%	否定的回答…17.1%
2	「学校には安心して過ごす場所（教室以外でも）がある」	肯定的回答…76.5%	否定的回答…14.7%
3	「困ったり悩んだりした時には、友だちや先生などに相談することができる」	肯定的回答…76.5%	否定的回答…18.3%

★否定的回答の割合が高く、学校としてはしっかりと受け止める必要があると考えています。要因は子どもによってさまざまで、学習面の不安、友だち関係のつまずき、家庭の影響、教師との関係なども考えられます。子どもたちにとって学校が「楽しく」「安心して」「気持ちを出せる」「気持ちを受け取ってもらえる」場所であってほしいと思います。引き続き、子どもたちに寄り添い、「仲間づくり」「楽しくわかる授業づくり」取り組むとともに、研修を通じて教職員の人権意識を高めていくことが必要だと思っています。

5	子どもは「授業中、まちがえても自分の考えを書いたり言ったりすることができる」と言っている	肯定的回答…63.6%	否定的回答…26.4%
---	--	-------------	-------------

★まちがいを恐れる、自信がないという児童が多いということだと思っています。「正しい答えを出さなければならない」、「まちがい＝失敗」、「まちがう（できない）ならやらない」という意識を、「まちがってもいいからやってみる」、「まちがいからわかった」、「みんなで考えてわかった」という前向きな意識に変えていくために、クラスの雰囲気づくり（仲間づくり）や授業でさまざまな仕かけをしていき、安心して自分の意見や考えを出すことができるようになってほしいと思います。高川小の子どもに乗り越えてほしい課題の一つです。

★その他

自由記述では、「子どもに寄り添ってもらい、自信がついた」「楽しく学校へ行っている」など、ありがたいご意見の他、「子どもへの指導が中立的でないのではというご意見」もいただいています。しっかりと聞き取りを行い、子ども同士が納得できるよう指導していきたいと思います。また、「タブレットの持ち帰りに関する質問」などもいただいております。

保護者のみなさま

この1年間、高川小学校の教育にご理解とご協力を賜り、ありがとうございました。子どもたちは、授業や行事にとっても一生懸命に取り組みました。授業参観、運動会や舞台発表会などで、お子さまの成長を実感された方も多いのではないのでしょうか。大人は、つい、頑張ったことを認めることより、苦手なことやできていないことに注目してしまいがちです（私自身の子育ても反省することばかりです）。誰でも、頑張りを認められることは嬉しいことです。結果ではなく、その過程の頑張りを認めてあげてほしいと思います。

改めまして、みなさまのご理解・ご協力に感謝し、今後も子どもたちの成長のために教職員一同、取り組みを進めてまいります。1年間、ありがとうございました。